明日へ向かって



第3学年 学年だより 令和5年 9月29日 第38号

修学旅行を終えて作文紹介②

僕は、この修学旅行で印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、奈良と京都の見学地です。1日目に行った3つの寺では、日本の歴史を感じることができ、また、東京とは全然違った雰囲気を味わうことが出来ました。

2日目には、安井金比羅宮と北野天満宮に行きました。安井金比羅宮は「悪縁を切って良縁を結ぶ」というあまり聞いたことのないところだったけどとても良い場所でした。 さんは土屋先生と縁を結んでいました。 北野天満宮では班員全員で合格祈願をし、全員第一志望に受かるといいなと思いました。 3日目は、平等院鳳凰堂に行きました。そこでは運転手さんから、一万円札に使われている鳳凰は右側の鳳凰だということや、昔は十円のデザインとは少し違っていたなどということを聞きました。この3日間で文化財の見方が大きく変わりました。

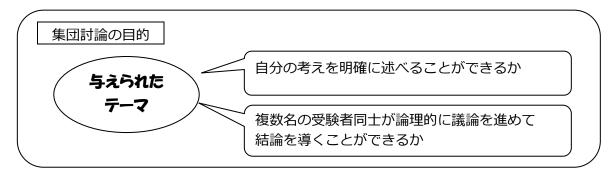
2つ目は班員のことで、僕は、一生に一度きりの中学校の修学旅行がとても楽しみで、また、当日も想像以上に楽しかったです。こんなに楽しく過ごすことができたのは班員のおかげだと思いました。全員男子の班だったので微塵も気を遣わずにいられました。3日目には男子5人班から7人班になって、より楽しくいられました。新幹線の中でも近くの席がみんな男子だったのでよく騒ぐことができました。

今年の修学旅行は特に大きな感染対策もなく、制限なしだったので中学校生活3年間の中での1番の思い出になりました。これからは、受験で特に大変な時期なので、メリハリをつけ集中して授業や勉強に励みたいです。 3組



都立推薦「集団討論」について

●令和6年度都立推薦入試から、一部の高校で復活する「集団討論」について、概要等を説明します。 集団討論は平成25年度入学候補者の都立推薦試験から導入されましたが、令和3年度入試から感染 拡大防止の一環として中止されていました。



目的から導き出される評価の観点

- (1) コミュニケーション能力はあるか
- (2) 課題に対する考えを導き出す思考力はあるか
- (3) 発言しようとする内容を取捨選択し有効な発言を行う判断力はあるか
- (4) 自分の考えを集団に伝える表現力はあるか
- (5) 自分の意見を発表しようとする積極性はあるか
- (6) お互いの意見を良く聞きそれに対する有効な発言を行う傾聴力はあるか
- (7) 討議の流れをつかみ種々の発言をバランス良く取り入れる力はあるか (バランス感覚)

都立推薦と集団討論

都立推薦における「集団討論」は導入されたとき、どのような試験になるか正確なところは分からず、きっちり指導を入れる中学もあれば、「先入観を与える」ということで、まったく指導を入れなかった中学もあったようです。

しかし今年度は、以前のデータがありますから、準備すべき部分は準備し、練習すべきところは練習をしっかり行って臨むことができますし、それは必要だと思います。

これまでのテーマについては、東京都教育委員会の HP にある「東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜で実施した集団討論、小論文・作文、実技検査のテーマ等一覧」にまとまっています。自分の志望校は、どんなテーマを受検生に課したのか、必ずチェックしておき、少なくともそのテーマに対して、自分の考えをまとめたり、しゃべる練習をしたりということはしておきましょう。

都立推薦における「集団討論」について、大切なことは「何が行われるのか」よりも、むしろ「都 立推薦を受ける者にとって、やることが増える」という観点です。

このことにより都立を推薦で受けようとする者の減少が懸念されましたが、平成25年度入試では特に受検者の顕著な減少は見られませんでした。

集団討論の中身

- (1)集団討論にあたる面接委員は3人。個人面接を行う人と同じ面接委員です。 (受検者が多い場合は、2人のことがあります)
- (2) 個人面接と集団討論は午前・午後に分けて行ったり、試験日をかえるなど、連続しては 実施しないように配慮されます。

昨年度最も多かったのは、一日目に集団討論、二日目に個人面接を実施した例です。

- (3) 同じ日に個人面接と集団討論が行われる場合は、おおむね集団討論が先に行われます。 男女で入れ替えた高校もありました。(男子が集団討論の時、女子が個人面接)
- (4) 討論のテーマは、小論文・作文の課題と同じく、ほとんどの場合その場で示されます。
- (5) 内容はおおむね次の通りです。
 - ①個人面接と同じように所属中学校、氏名を一人一人述べる。
- ②課題が示され、考える時間が与えられて課題に対する考えを一人一人述べる。
- ③それらの意見に対する賛同、または反論を述べる形で討論を進める。
- ④発言は申告制(挙手など)で、発言希望者が重複した場合は面接委員が適切に指名する。
- (6) 採点は、高校があらかじめ定めたいくつかの観点において、それぞれ「ABC」「123」 等の評価を行い、集団討論と個人面接の二つを通して評価を行う。
- (7) 配点は高校ごとに定め、「集団討論・個人面接点」として点数化する。この満点は高校が 指定する。

対策

与えられる課題(テーマ)は、「受検者同士が意見をまとめやすいもの、お互いの立場で意見を述べやすいものにするなどの配慮をする」とされています。これまでのテーマについては、討論に適したテーマだったかどうか研究討議されているので、本年度は討議しやすいテーマになると予想されます。ただし、その高校独自の色を出してくる場合も想定できるので、注意は必要かもしれません。

- ◆そのため、「いじめ」「公共のマナー」「人権問題」などの普遍的な課題について、自分の考えをまとめておく。
- ◆また時事問題についての知識を得ておくことが大切。「昨今の政治関係」「平和問題」「ノーベル賞」など、新聞やインターネットから広く浅く情報を得る。
- ◆個人面接に比べ、集団討論ではコミュニケーション能力を見られる%が上がる。他者から自分の意見を否定された場合、単に反論するだけでなく、根拠を持って持論を展開させる心構えと、流れを読み、相手の意見で賛同できるところを見出すことが大切。
- ◆自分が頭に思い描いたことを実際に言葉にできるか(しゃべることができるか)という訓練を しておきましょう。

以前、練習に使用したテーマ例

- (01) 社会貢献に大切なものはなにか。(02) 自転車専用レーンは必要だと思うか。
- (03) 日本に二院制は必要か。(04) 新聞は必要か。
- (05) 日本はオリンピックを招致すべきか。(06) 消費税は何%必要か。
- (07) なぜいじめはなくならないのか。(08) 年末年始、街のイルミネーションは必要か。
- (09)公共交通機関内の「優先席」は必要か。(10)町にゴミ箱は必要か。
- (11) 合唱コンの練習中、クラスのムードは最悪。どうする?
- (12) 正月から商店を開けるべきか。(13) 原子力発電所は0にすべきか。
- (14) 充実した高校生活を送るためには何が必要か。(15) 喫煙についてどう思うか。
- (16)動物園の動物は幸せか。(17)日本はTPPに参加すべきか。
- (18) 授業中うるさくなり集中できない。どうする?
- (19) 通信手段としてのスマホは必要か。(20) 校則は必要か。

ポイントは、その意見が「正解」か「不正解」かではありません。

- ■「持論を持ち、それを自分の言葉で展開させられるか」
- ■「相手に分かりやすく表現できるか(しゃべることができるか)」
- ■「持論に根拠があるか」
- 「その根拠は妥当なものか」

このような観点で意見をまとめ、実際にしゃべってみたり、友達と討論してみたり練習しましょう。

実際の都立推薦集団討論で出されたテーマ例

- (01) あなたの乗った船が遭難。無人島を発見。船から一つだけ物を運び出すとしたら何か。
- (02) 学校や社会において「リーダーシップ」をとる上で大切なこと、忘れてはならないことは何か。
- (03) 校則を守らない生徒がいる。注意も聞かない。クラスメートとしてどうするか。
- (04) 喫煙についてどう思うか。
- (05) 青山さんは何月生まれの人か。(事前に「青山さん」についての情報プリントが渡されている)
- (06) 町にゴミ箱は必要か。
- (07) 合唱コンクールのクラス練習。クラスのムードは最悪。あなたはどうするか。
- (08) 充実した高校生活を送るためには何が必要か。
- (09) I T機器の上手な利用法
- (10) この6人(討論メンバー)で無人島で過ごす。30日間滞在するために何を持っていくか。
- (11) 再生可能エネルギーを利用する事の意義と課題。
- (12)「自由」と「自分勝手」の違い。
- (13)原子力発電所の必要性について。
- (14) いじめはなくすことができないのか。
- (15)自転車の安全性について
- (16) 環境保護と開発についてあなたはどちらを優先するか。

今後の予定

2日 (月)	① 後期委員会決め ②~⑥領域診断テスト			
3日(火)	部活動写真撮影① 1・3組オンライン国際交流 ②カット① 2組オンライン国際交流 部活動写真撮影			
4日 (水)				
5日(木)				
6日(金)	⑤面接講座(郁文館夢学園 近藤先生) ⑥修学旅行事後学習			